



7月も半ばを迎え、明日から、皆さんが楽しみにしている夏休みが始まります。この4ヶ月間、本当によく頑張りました。矢野中スタンダード「時を守り・場を清め・礼を正し・学びを求める」を意識した生活ができたでしょうか。この長期間の休みで、しっかりとした振り返りをしてください。

さて、22日(月)、23日(火)は三者懇談会を行います。できた事とできなかった事を把握し、十分な修正をしてください。この夏休みは、生徒が頑張ることは当然ですが、保護者の皆様にも可能な「規則正しい生活をさせること」「三度の食事の準備」「子どもと一緒に時間を持つこと」など、いろいろと工夫をして頂ければと思います。よろしくお願い致します。

他校の校長先生から次のような話を聞きました。教え子と再会した際、次のような相談を受けたそうです。「私には二人の子どもがいますが、子育ての悩みは勉強のことです。私は子どもの勉強にどのように関わっていけばいいのでしょうか。」というものでした。その校長先生は次のような試みを伝えたそうです。それは「子どものテスト勉強に付き合ってみたら」ということでした。もちろん、一緒に勉強するわけではありませんし、勉強の手助けをするわけではありません。では、何をするのか、子どもが「もういいよ!」というまで、わが子の勉強に付き合ってみるといことだそうです。

傍らで黙って本を読み、時には、夜食を差し入れる。子どもが「わからない」と言えば「教科書やノート、参考書でも見れば」というくらいのことを言う。子どもが「気が散るから、向こうに行って」と言われればそれはそれでいいということでした。

後日、彼女から電話があり、第一声は「眠たかったです」でしたが、娘さんは何も言わずに勉強を続けたそうです。二日目、疲れてウトウトしていると、黙って自分のジャージをかけてくれたそうです。先生は、これがベスト、有効な方法だなどということはなく、親としての気持ちを子どもに寄り添わせる1つの方法になるかなと考えてアドバイスしたそうです。

自分一人の力で勉強に取り組める子どももいますし、勉強を教えることのできる保護者もいると思います。けれども、外野席から「勉強しなさい」「そんなことでは成績が落ちてしまうよ」「〇〇さんは頑張っているよ」などと声をかけるより、子どもの心に寄り添うことを考えてみてはいかがでしょうか。

職場体験学習、野外活動、大成功でした

1年生は、国立江田島青少年交流の家において1泊2日の野外活動を行いました。豪雨のため警報も発令される中、交流の家や体育館内において、雨を吹っ飛ばすような活動を見せてくれました。

また、3年生は、3日間、90カ所の事業所にお世話になり、職場体験学習を行いました。仕事をするの大変さや仕事への理解、労働を経験する事で保護者への感謝を感じてくれました。素晴らしい体験となりました。

2年生も、勉強や部活動に真剣に取り組んでいました。

HPをご覧ください。